

## 幌延深地層研究センター P R 施設の概要

### 1 . 建設のねらい

幌延深地層研究計画には次の3つの大きな目標があります。

- 1 . 深部地質環境の科学的研究の一層の充実
- 2 . 地層処分技術の実際の地質環境への適用による検証
- 3 . 深地層を実際に体験できる場としての整備

上記の目標のうち3 . 「深地層を実際に体験できる場としての整備」を実践するための拠点となる施設が、幌延深地層研究センター P R 施設です。

本施設は、幌延深地層研究センターが行う深地層研究の目的や研究内容を広く一般の方々にご紹介する場として、そして地域の皆さまとの触れ合いの場として整備します。情報提供に際しては、わかりやすく体験的な展示に加え、「研究現場をみてもらう」、「研究の成果を見て聞いてもらおう」などの研究活動を紹介する場を設けるとともに、研究者たちの「顔」や「人」が見えてくる手法を取り入れ、研究現場と来館される方々との距離を縮めたいと考えています。

### 2 . 施設計画



完成予想図 (イメージ)

- ・階数構造 : 2階建 鉄骨構造 + 展望階 (展望階の高さ : 地上50m)
- ・延床面積 : 約1,900㎡ (展示面積 : 約1,300㎡)
- ・開館予定 : 平成19年夏頃
- ・入館料 : 無料 (科学実験など資材費として一部参加料を有料とする場合があります)

## 【展望室タワー】

地下研究施設などのセンター施設を上から眺め、雄大な北の大地を一望できる場とします。天気の良い日には利尻富士もご覧になれます。

## 【1F】

来館者の出入り口、総合インフォメーション受付として一般来館者や団体客等に備え、多くの人が集合できるエントランスホールを設けます。

また、以下のブースを設置します。

### 幌延インフォメーションルーム

幌延深地層研究センターを中心とした各種情報をご覧いただけます。

主展示のイントロダクション、機構の紹介などのコーナー

B1階に設置する展示物の紹介、原子力機構の案内コーナーを設置します。

バーチカルトランスポーター500

地下の体感はここから。地下深くに降りて行くことを体感できるエレベーターです。

### 多目的室

主に団体客への施設ガイダンスや見学コースの事前レクチャーを行う場とするほか、実験教室などのイベントを開催する予定です。

### ギャラリー

企画展示や市民アートの発表の場として活用するなど、さまざまなイベントに対応できる場とする予定です。

## 【B1F 展示スペース】

「原子力」から「深地層研究」まで紹介するシアターや参加体験型の展示機能を持ちます。また、さまざまな視野から地底世界への興味を深める場を設けます。

### ジオ・シアター

「放射性廃棄物の処理・処分」、「深地層研究の必要性」、「幌延町における深地層研究の紹介」という3つのテーマを一連のストーリーで物語ります。

### 私たちのくらしと原子力

今日の日常生活と原子力のかかわり、核燃料サイクル、放射性廃棄物の処分、深地層の研究について紹介します。

### 地底不思議広場

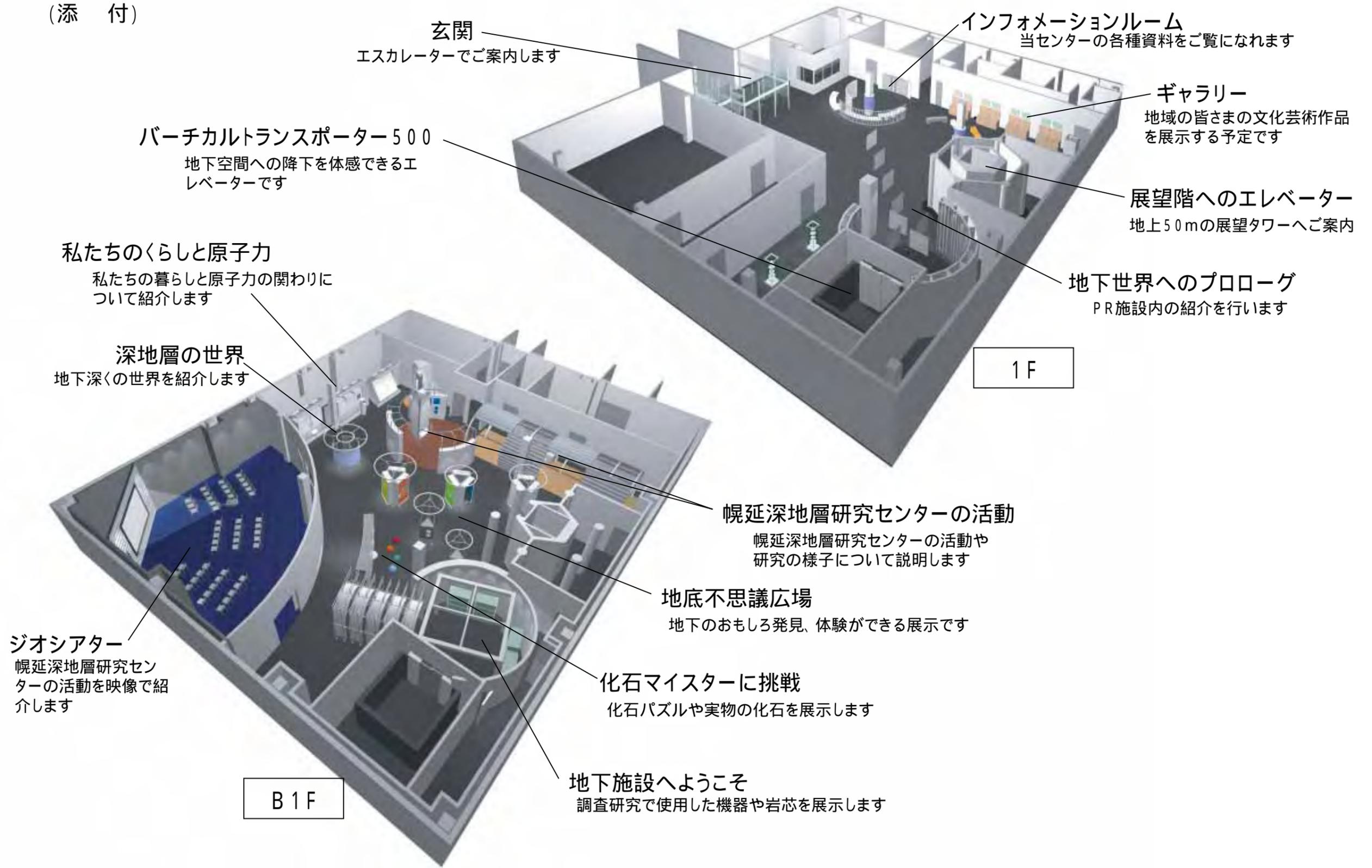
地底の不思議について、来館された皆さまに楽しんでいただくコーナーを設けます。

### 幌延深地層研究センターの活動

研究・開発の基本情報、研究者の取り組んでいる活動、地下施設にかかるクイズなど、幌延深地層研究センターの活動を幅広く紹介します。

以 上

(添 付)



**幌延PR施設の全体構成**